

令和6年度
大学院医工農学総合教育部
修士課程学生募集要項
(第3次募集)

看護学専攻

今後の新型コロナウイルス等感染症の拡大状況により、本募集要項の内容とは異なる方法で実施する場合があります。

変更が生じた場合は、本学ホームページ (<https://www.yamanashi.ac.jp/admission/45>) に最新の情報を掲載しますので、随時確認してください。



山梨大学

UNIVERSITY OF YAMANASHI

地域の中核 世界の人材

《アドミッションポリシー》

山梨大学大学院における教育目標及びポリシー

【教育目標】

山梨大学大学院では、「地域の中核、世界の人材」の標語の下、幅広い教養と汎用能力及び専門分野の知識と技能を身に付け豊かな人間性と専門性をもって国際的にも活躍できる人材を育成します。

このような人材の育成を実現するため、大学院課程における「学位授与の方針」、「教育課程編成・実施の方針」、「入学者受入れの方針」を定めます。

【入学者受入れの方針（アドミッション・ポリシー）】

山梨大学大学院では、以下のような能力や意欲を備えた人々を積極的に受け入れます。

- ・ 知的好奇心が旺盛で、自ら研究を行う意欲のある人
- ・ これまで以上に幅広い教養や汎用能力の習得に意欲があり、かつ高度な専門的知識や応用能力を修得したい人
- ・ 論理的な思考力や豊かな人間性を備え、地域や国際社会でリーダーとして活躍したい人
- ・ 職業経験に基づいた知識や技能を高度化、深化させたい人

大学院医工農学総合教育部修士課程の理念・目標とアドミッションポリシー

<理念・目的>

現代社会が直面する課題の解決に応用でき、また、これら応用研究の基礎となる学術研究を、国際的視野を持って創造的に推進する優れた研究者並びに高度で専門的な知識と能力を有する職業人を養成する教育・研究を行います。

<育成目標>

専門知識及び開発能力、問題発見・解決能力、国際的コミュニケーション能力を修得し、専門技術者・研究者として社会に貢献できる人の養成を目指しています。

<求める能力・人物像>

専門領域の基礎的学力を持ち、さらなる知識の修得意欲があり、高度の研究や応用を目指し、その成果を社会に還元しようとする人を求めています。

看護学専攻

<育成目標>

質の高い看護サービスを提供するために求められる科学的知識と技術を有する看護専門職の養成を目指しています。

<求める能力・人物像>

人間・健康・環境・看護について深い興味と問題意識を持ち、看護学の実践や研究を遂行できる基礎学力を備えた人を求めています。

<試験区分別の入学者選抜の基本方針>

上記の<求める能力・人物像>で示す能力等を有する人を評価するため、以下の方法により選抜します。

一般選抜

成績証明書、小論文、口述試験等の結果を総合的に判断して選抜します。

社会人特別選抜

本選抜は、看護師・保健師・助産師のいずれかの免許を有し、出願時に3年以上の看護関連業務の実務経験を有する人を対象に実施しています。成績証明書、小論文、研究計画書、口述試験等の結果を総合的に判断して選抜します。

目 次

募集要項

| | | |
|----|---------------|---|
| 1 | 募集人員 | 1 |
| 2 | 教育・研究領域 | 1 |
| 3 | 出願資格 | 1 |
| 4 | 出願手続 | 2 |
| 5 | 受験票 | 4 |
| 6 | 選抜方法 | 4 |
| 7 | 合格者の発表 | 5 |
| 8 | 入学手続 | 5 |
| 9 | 授業料 | 5 |
| 10 | その他の経費 | 5 |
| 11 | 個人情報の取扱い | 5 |
| 12 | 入学試験における感染症対応 | 5 |
| 13 | 出願書類の原本提出 | 6 |
| 14 | 安全保障輸出管理 | 6 |
| 15 | その他 | 6 |

入学案内

| | | |
|----|-------------------------|---|
| 1 | 目的 | 7 |
| 2 | 構成 | 7 |
| 3 | 授業科目の概要及び担当教員 | 7 |
| 4 | 学位 | 7 |
| 5 | 履修方法 | 7 |
| 6 | 連携開設科目 | 7 |
| 7 | 大学院設置基準第14条に定める教育方法の特例 | 7 |
| 8 | 長期履修学生制度 | 8 |
| 9 | 入学料及び授業料の免除制度、入学料徴収猶予制度 | 8 |
| 10 | 奨学金制度 | 8 |
| 11 | 学生教育研究災害傷害保険 | 8 |

本学所定の様式

- 様式1 研究計画書（社会人特別選抜のみ提出）
- 様式2 受験及び就学承諾書
- 様式3 大学院入試出願資格審査提出書類チェックシート（出願資格審査の対象となる方のみ提出）
- 様式4 入学試験出願資格審査願（出願資格審査の対象となる方のみ提出）
- 様式5 実務期間及び実務内容証明書（出願資格審査の対象となる方のみ提出）
- 様式6 研究業績調書（出願資格審査の対象となる方のみ提出）

※様式は、出願期間前から次の URL よりダウンロードできます。

本学ホームページ > 入試情報 > 大学院入試 > 募集要項

<https://www.yamanashi.ac.jp/admission/45>

【問い合わせ先】

| | | |
|------------|------------------|--|
| 出願手続に関すること | 教学支援部入試課 | 〒400-8510 甲府市武田4丁目4-37 電話：055-220-8046 E-mail：nyushi@yamanashi.ac.jp |
| 選抜方法に関すること | 医学域学務課 教務グループ | 〒409-3898 中央市下河東1110 電話：055-273-9627 E-mail：gakumu-daigakuin@yamanashi.ac.jp |

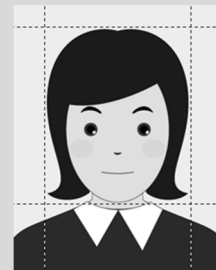
窓口対応時間：平日（月～金）8時30分～17時15分（土・日・祝日を除く）

Web 出願利用ガイド

出願期間内に Web 出願情報の登録、入学検定料の支払い、出願書類の提出 の全てを完了してください。いずれか1つでも完了していない場合は、出願を受理することはできません。

① 事前準備（用意するもの）

- インターネットに接続されたパソコン、スマートフォン、タブレット等
- PDF ファイルを開くためのアプリケーション（アドビ社の Adobe Acrobat Reader を推奨）
- A4 サイズの印刷が可能なプリンター
自宅にプリンターがない場合は、学校や図書館などの公共施設のプリンターやコンビニエンスストアのプリントサービスを利用してください。
- 「@yamanashi.ac.jp」からの受信が可能なメールアドレス
- 出願書類
- 市販の角形2号封筒（24 cm×33.2 cm）
- 証明写真（顔写真）データ



（適切な顔写真の例）

試験当日の本人確認で利用しますので、明暗以外は無加工の写真を準備してください。

なお、試験時間中に眼鏡をかける方は、眼鏡をかけて撮影した写真を準備してください。

- ・証明写真機（写真データのダウンロードや取得ができるもの。写真等の保存フォルダに入れてください。）やデジタルカメラ、スマートフォン、タブレットで撮影したもの。
- ・試験日前3ヶ月以内に単身で撮影したもの。
- ・カラー写真、上半身・正面、無帽、無背景、枠なしであること。
- ・写真サイズは、縦 800px×横 600px 以上（縦横比 4：3）、3MB 以内であること。
- ・ファイル形式は、JPEG であること。（ファイル拡張子は jpg）

② メールアドレスの登録

Web 出願サイト (<https://syutugan.yamanashi.ac.jp>) にアクセスし、「新規利用者登録」からメールアドレスを登録してください。登録後すぐにメールが届きますので、本文の案内に従い 30 分以内に次の手順に進んでください。



③ 利用者情報の登録（いつでも登録できます）

画面の案内に従って個人情報を常用漢字（JIS 第 1 水準・第 2 水準）で登録してください。

出願から入学までの間、本学からの通知を志願者本人が確実に受信できる連絡先（メールアドレス、住所、電話番号等）を登録してください。出願後に変更が生じた場合は、速やかに教学支援部入試課へ連絡してください。

④ 出願情報の登録（出願期間中のみ登録できます）

Web 出願サイト>マイページ>新規出願から、画面の案内に従い登録してください。

⑤ 入学検定料の支払い

Web 出願サイト>マイページ>検定料の支払いから、画面の案内に従いお支払いください。

⑥ 出願書類の提出

出願書類を作成・印刷し、教学支援部入試課へ提出してください。提出方法は、募集要項を確認してください。

⑦ 出願の受理

出願書類が受理されたら出願完了です。受験票の発行通知をお待ちください。

* Web 出願に関する問い合わせ先

山梨大学 教学支援部入試課

電話：055-220-8046 E-mail：nyushi@yamanashi.ac.jp

募集要項

1 募集人員 若干人（社会人特別選抜を含む。）

2 教育・研究領域

基礎看護学 臨床看護学 公衆衛生看護学 高齢者看護学 精神看護学 産業保健看護学 排泄看護学
国際看護学 母性看護学 在宅看護学

3 出願資格

次の各号のいずれかに該当する方

- (1) 学校教育法第83条に定める大学を卒業した方又は令和6年3月卒業見込みの方
- (2) 学校教育法第104条第7項の規定により学士の学位を授与された方又は令和6年3月までに学士の学位を授与される見込みの方
- (3) 外国において学校教育における16年の課程を修了した方又は令和6年3月までに修了見込みの方
- (4) 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における16年の課程を修了した方又は令和6年3月までに修了見込みの方
- (5) 我が国において、外国の大学の課程（その修了者が当該外国の学校教育における16年の課程を修了したとされるものに限る。）を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了した方又は令和6年3月までに修了見込みの方
- (6) 外国の大学その他の外国の学校（その教育研究活動等の総合的な状況について、当該外国の政府又は関係機関の認証を受けた者による評価を受けたもの又はこれに準ずるものとして文部科学大臣が別に指定するものに限る。）において、修業年限が3年以上である課程を修了すること（当該外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該課程を修了すること及び当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって前号の指定を受けたものにおいて課程を修了することを含む。）により、学士の学位に相当する学位を授与された方又は令和6年3月までに授与される見込みの方
- (7) 文部科学大臣の指定した方（昭和28年2月7日文部省告示第5号）（令和6年3月までにこれに該当する見込みの方も含む）
- (8) 専修学校の専門課程（修業年限が4年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。）で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した方又は令和6年3月までに修了見込みの方
- (9) 令和6年3月末現在において大学に3年以上在学した方、又は外国において学校教育における15年の課程を修了した方及び令和6年3月までに修了見込みの方で、所定の単位を優れた成績をもって修得したものと本学の大学院において認めた方
- (10) 本学の大学院において、個別の入学資格審査により、大学を卒業した方と同等以上の学力があると認めた方で、入学の時点で22歳に達している方

(注) 1 希望する指導教員と事前打ち合わせを十分に行った上、出願してください。

なお、希望する指導教員は別表2「授業科目の概要及び担当教員」（12～16頁）の各専門科目特別研究A・Bに記載の教員から選択してください。

(注) 2 上記の(9)又は(10)により入学を志願する方は、事前に出願資格の審査を行いますので、出願資格の審査書類を令和6年1月23日(火)16時30分(必着)までに教学支援部入試課(甲府キャンパス)に提出してください。

審査に必要な提出書類は、本学ホームページ>入試情報>大学院入試>募集要項 (<https://www.yamanashi.ac.jp/admission/45>) からダウンロードできます。

なお、(9)又は(10)に係る本学の大学院における認定は、提出書類の審査にて行います。審査の結果は、令和6年1月29日(月)までに本人宛にメールで通知します。

(注) 3 (9)により出願できる方は看護師・保健師・助産師のいずれかの免許を有し、大学での修得単位数が、原則として98単位以上の方とします。

【社会人特別選抜についての注意事項】

社会人特別選抜への出願は、上記の出願資格のいずれかに該当する方で、看護師・保健師・助産師のいずれかの免許を有し、出願時に3年以上の看護関連業務の実務経験を有する方とします。

【受験上及び修学上の配慮を必要とする入学志願者との事前相談】

病気・負傷や障がい等のある入学志願者のうち、受験上及び修学上の配慮を必要とする方は、教学支援部入試課へ申請方法等を照会の上、令和6年1月23日（火）までに、申請に必要な書類を提出してください。（申請に必要な書類は照会の際お伝えします。）

4 出願手続

(1) 出願方法

次のURLからWeb出願サイトにアクセスし、画面の案内に従って、出願情報等を登録してください。

Web出願サイト <https://syutugan.yamanashi.ac.jp>

詳細は、本要項の目次の次頁に記載の「Web出願利用ガイド」を確認してください。

(2) 出願期間

令和6年2月5日（月）～2月9日（金） 16時30分まで 【出願期間内必着】

出願期間内に「Web出願情報の登録」、「入学検定料の支払い」、「出願書類の印刷・作成・提出」の全てを完了してください。いずれか一つでも完了していない場合は、出願を受理することはできません。

(3) 入学検定料の支払い

入学検定料 30,000 円（別途手数料が発生し、志願者負担になります。）

- ・ Web出願サイトの「検定料の支払い」で、①～④から支払方法を選択し、お支払いください。
①クレジットカード、②コンビニエンスストア、③金融機関ATM (Pay-easy)、④ネットバンキング
- ・ **クレジットカード以外の支払方法は、入金確認に2時間程度かかります。**（入金が確認されないと次の出願書類印刷に進むことができませんので注意してください。）
- ・ **海外から出願する場合の支払方法はクレジットカードのみです。**
- ・ 出願受理後は、いかなる理由があっても、既納の入学検定料は返還できません。

【入学検定料の免除】

- ・ 対象者：次の災害に被災された方に対し、入学検定料免除の特別措置を行います。

東日本大震災、平成28年熊本地震、平成30年7月豪雨、平成30年北海道胆振東部地震、令和元年台風第15号及び第19号、令和2年4月以降に発生した災害救助法に適用となる災害

- ・ 必要書類：本学ホームページ(<https://www.yamanashi.ac.jp/examination/3787>)を確認してください。
- ・ 受付期間：出願期間開始日の1ヶ月前～出願期間開始日の前日
- ・ 照会先：教学支援部入試課

〒400-8510 山梨県甲府市武田4丁目4-37 電話：055-220-8046

(4) 出願書類

- ・ 出願書類には、各自が準備する書類とWeb出願サイトから印刷して提出する書類があります。
- ・ **写し(コピー)の提出を認めた書類を除き、原本を提出してください(海外在住者は除く)。**なお、原本を提出できない場合(出身学校等が卒業証明書や成績証明書等を卒業(修了)時に一度発行するだけで、以降証明書を発行していない場合等)は、**出願期間開始前日まで**に教学支援部入試課へ相談してください。
- ・ 出願資格審査が認定された方は、出願資格審査時に提出した書類を再提出する必要はありません。

| NO | 提出書類 | 一般 選抜 | 社会人 特別選抜 | 摘 要 |
|----|----------------------------|----------|-------------|---|
| 1 | 卒業(修了)証明書又は 卒業(修了)見込証明書 | ○ | ○ | 出身大学等の定める様式。 |
| 2 | 学位授与証明書 | ○ | ○ | 出願資格(2)により出願する場合。 大学改革支援・学位授与機構が発行したもの。学位取得見込みの方は、学士の学位の授与を申請する予定である旨の証明書(在籍学校長が発行したもの)。 |

| | | | | |
|----|--------------------------|---|---|---|
| 3 | 成績証明書 | ○ | ○ | 出身大学等が作成し、厳封したもの。(海外在住の方が電子ファイルで提出する場合は、厳封する必要はありません。) 出願資格(2)により出願する場合は、学位授与審査を受けた修得単位に係るすべての成績証明書を提出してください。 |
| 4 | 履歴書 | ○ | ○ | Web出願サイトの「マイページ」の「出願書類印刷」から印刷した【履歴書】を提出してください。 |
| 5 | 在職期間証明書 | | ○ | 3年以上の看護関連業務の実務経験について、勤務先が証明したもの(様式は任意)を提出してください。(事前出願資格審査書類様式である【実務期間及び実務内容証明書(様式5)】の使用可。) なお、複数の勤務先が該当する場合は、医学域学務課(電話:055-273-9627)へ照会してください。 |
| 6 | 免許証の写し | | ○ | 看護師、保健師及び助産師の免許証の写し。(取得しているすべての免許証をA4サイズに縮小コピーし、提出してください。) |
| 7 | 研究計画書 | | ○ | 本学ホームページから【研究計画書(様式1)※】をダウンロードの上、作成し提出してください。 看護研究のテーマ、目的、動機(背景を含めた問題意識)、方法等について記入してください。 |
| 8 | 受験及び就学承諾書 * 該当する方のみ提出 | ○ | ○ | 出願時に病院や企業等に勤務しており、入学後も引き続き在職のまま在学を希望する方は、本学ホームページから【受験及び就学承諾書(様式2)※】をダウンロードの上、勤務先の所属機関の長が承諾したものを必ず提出してください。 なお、出願時に病院や企業等に勤務していても、入学後学業に専従する場合は提出する必要はありません。 また、出願時と入学時で勤務先が異なる方、入学後に就職する方は、医学域学務課(電話:055-273-9627)へ照会してください。 |
| 9 | 住民票 * 国籍が日本国以外の方のみ提出 | ○ | ○ | ・日本国内在住の方 住居地の市区町村長が交付する住民票(在留資格及び在留期間が明記されたもの)を提出してください。 ・海外在住の方 旅券の写し(顔写真が掲載されているページ)を提出してください。 |
| 10 | 戸籍抄本 * 該当する方のみ提出 | ○ | ○ | 改姓等により、各証明書等の氏名が異なる場合は、提出してください。 |

※ 本学所定の様式は、出願期間前から次のURLよりダウンロードできます。

本学ホームページ > 入試情報 > 大学院入試 > 募集要項

<https://www.yamanashi.ac.jp/admission/45>

(5) 出願書類等の提出方法

Web出願サイトの「マイページ」の「出願書類印刷」にある【出願書類等チェックリスト(提出不要)】で出願書類が全て揃っているか最終確認してください。

① 日本国内在住の方

Web出願サイトの「マイページ」の「出願書類印刷」から印刷した【封筒貼付票】を市販の角形2号封筒(24cm×33.2cm)に貼付の上、出願書類を封入してください。

郵送する場合は、郵便局窓口から簡易書留速達にて、必ず出願期間内に本学へ到着するように郵送してください。

持参する場合は、出願期間中の**9時から16時30分**(正午から13時を除く)の間に教学支援部入試課窓口(甲府キャンパス)に提出してください。(土・日・祝日を除く。)

② 海外在住の方

必ず出願期間内に、必要な提出書類を電子ファイル(PDF)で教学支援部入試課(E-mail : nyushi@yamanashi.ac.jp)へ送信してください。

なお、入学後に出願書類の原本を提出してください。提出方法については、「13 出願書類の原本提出」(6頁)を確認してください。

(6) 出願書類等の提出先・照会先

教学支援部入試課 (甲府キャンパス)

〒400-8510 山梨県甲府市武田4丁目4-37

電話 : 055-220-8046

E-mail : nyushi@yamanashi.ac.jp

【留意事項】

- ① 出願内容 (Web 出願情報・出願書類等) に不備がある場合は、受理しないことがあります。
- ② 出願受理後は、いかなる理由があっても、出願内容の変更は認めません。(住所等の連絡先の変更は除く。) また、出願書類の返却もできません。
- ③ 出願内容が事実と相違していた場合は、入学後であっても入学を取り消すことがあります。
- ④ 出願手続等に不明の点がある場合は、教学支援部入試課へ照会してください。

5 受験票

受験票は、Web 出願サイトから各自で印刷し、試験当日に必ず持参してください。

下記印刷可能通知日までに、Web 出願サイトに登録されたメールアドレスに印刷が可能になった旨をお知らせします。

下記印刷可能通知日を過ぎても受験票が印刷できない場合は、教学支援部入試課へ照会してください。

印刷可能通知 : 出願期間終了日から土・日・祝日を除く3日後までに通知

印刷可能期間 : 印刷可能通知の受信日～令和6年3月31日

印刷方法 : Web 出願サイト>マイページ>受験票 から印刷 (A4サイズの白紙、倍率100%、カラー印刷)

- ・ 受験票には、Web 出願サイトに登録された氏名を使用します。
- ・ 受験票を紛失・汚損等した場合は、Web 出願サイトから再度印刷してください。

6 選抜方法

(1) 選抜方法

- ① 一般選抜 成績証明書、小論文、口述試験等の結果を総合的に判断して選抜します。
- ② 社会人特別選抜 成績証明書、小論文、研究計画書、口述試験等の結果を総合的に判断して選抜します。

(2) 学力検査等

| 日 時 | | 試験科目 | 一般選抜 | 社会人特別選抜 |
|--------------|---------------|--------|------|---------|
| 令和6年2月20日(火) | 13:00 ~ 14:00 | 小論文 I | ○ | |
| | 14:15 ~ 15:15 | 小論文 II | ○ | ○ |
| | 15:30 ~ | 口述試験 | ○ | ○ |

- (備考) 1. 小論文 I は、志望する教育・研究領域の基礎知識について日本語又は英語で論述します。
2. 小論文 II は、看護学に関するトピックスについて日本語又は英語で論述します。
3. 口述試験は、志望する教育・研究領域の口頭試問を行います。
4. 小論文 I、II に遅刻した場合は、試験開始後30分以内に限り、受験を認めます。ただし、試験終了時間は変更しません。

(3) 試験場

医学部キャンパス看護学科教育研究棟（別図参照）

（試験開始10分前までに、試験場入口で受付を済ませてください。）

7 合格者の発表

日時：令和6年3月1日（金）16時頃

- ・ 本学ホームページ(https://www.yamanashi.ac.jp/examination_list)に合格者の受験番号を掲載しますが、最終的な確認は合格通知書で行ってください。
- ・ 大学構内での掲示は行いません。また、電話等による可否の照会には応じられません。
- ・ 合格者発表当日、合格者に合格通知書を発送します。

8 入学手続

(1) 入学手続の期日は、令和6年3月7日（木）～3月11日（月）です。

(2) 入学料は、282,000円（予定）です。

入学時に改定が行われる場合があります。また、既納の入学料はいかなる理由があっても返還しません。

(3) 入学手続関係書類は、合格通知書とともに発送します。

9 授業料

前期分：267,900円 [年額：535,800円]（予定）

- ・ 入学時及び在学中に授業料の改定が行われた場合は、改定時から新たな授業料が適用されます。
- ・ 原則口座引き落としとなります。手続については、別途案内します。

10 その他の経費

学生教育研究災害傷害保険料等の経費が必要です。

11 個人情報の取扱い

「独立行政法人等の保有する個人情報の保護に関する法律」及び「国立大学法人山梨大学の保有する個人情報の保護に関する規則」に基づき、次のとおり取り扱います。

- (1) 出願書類等に記載された個人情報（成績判定に関する情報を含む）は、①入学者選抜（出願処理、選抜実施）、②合格発表、③入学手続業務、④統計調査、⑤今後の入学者選抜方法検討や志願動向の分析、大学教育の改善に関する調査・研究を行うために利用します。なお、これらの調査・分析結果を公表する際は、個人が特定されないような形に処理します。
- (2) 入学者については、知り得た個人情報を①教務関係（学籍、修学指導等）、②学生支援関係（健康管理、就職支援、授業料免除・奨学金申請等）、③授業料徴収に関する業務を行うために利用します。
- (3) 上記業務の利用にあたり、一部の業務を本学から当該業務委託を受けた業者（受託業者）において行うことがあります。この場合、受託業者に対して、委託した業務を遂行するために必要となる範囲で、知り得た個人情報の全部又は一部を提供します。
- (4) 個人情報及びプライバシー情報保護のため、本選抜実施において取得した個人情報は、それが記載された書類及びデータ自体のいずれの形においても、厳重に秘匿され、上記の目的以外での利用は行わないことに加え、法令等により開示を求められた場合等を除き、第三者に開示することはありません。

12 入学試験における感染症対応

入学試験当日において、学校保健安全法で出席の停止が定められている感染症（新型コロナウイルス感染症、インフルエンザ、麻疹、水痘など）に罹患して治癒していない場合は、他の受験者や監督者等への感染のおそれがあるため受験できません。

なお、受験できない場合の追・再試験や別室受験等の特別措置及び入学検定料の返還は行いませんので、万全の状態で試験当日を迎えられるよう、体調管理には十分注意してください。

13 出願書類の原本提出

出願資格審査申請書類及び出願書類を電子ファイル(PDF)で提出した方は、入学後に原本を提出してください。なお、PDF書類データに改ざん等の虚偽の内容が発覚した場合、入学許可自体を取り消し、除籍処分にする場合がありますので注意してください。

提出書類：出願資格審査申請書類及び出願書類の原本

提出場所：医学部キャンパス 医学域学務課教務グループ窓口（8時30分～17時15分の間 *正午～13時除く）

提出日：本学への登校初日から1週間以内（厳守）

14 安全保障輸出管理

「外国為替及び外国貿易法」に基づき、「国立大学法人山梨大学安全保障輸出管理規程」を定め、外国人留学生の受け入れに際して厳格な審査を実施しています。規制事項に該当する場合は、希望する教育を受けられない場合や研究ができない場合がありますので、注意してください。

15 その他

Web 出願サイトにおいて、「志願者連絡先」は出願時から入学手続完了時までの間、本学からの照会や通知等を志願者本人が確実に受信できる住所と電話番号及びメールアドレスを登録してください。

なお、出願後、「志願者連絡先」に変更があった場合は、教学支援部入試課へ連絡してください。

入学案内

1 目的

看護学専攻は、ケアの受け手と提供者双方の意向に即したサービスを総合的、一体的に提供できる体制を整え、質的に高い看護サービスを提供できる看護専門職、教育者及び研究者を育成することを目的とします。

2 構成

- (1) 修業年限2年を標準とする修士課程です。
- (2) 授業科目及び単位数は、別表1のとおりです。

3 授業科目の概要及び担当教員

別表2のとおり

4 学位

- (1) 学位の名称は、修士（看護学）とします。
- (2) 修士の学位は、大学院に2年以上在学し、30単位以上を修得し、かつ、必要な研究指導を受けた上、修士論文の審査及び最終試験に合格した方に授与します。ただし、在学期間に関しては、優れた研究業績を上げた方については、1年以上在学すれば足りるものとします。

5 履修方法

大学院共通科目から、必修1単位、選択必修1単位以上、主教育・研究領域に関する特論2単位、演習6単位、特別研究12単位、その他、専攻共通科目又は専門科目から8単位以上の、合計30単位以上を履修するものとします。

履修基準表

| 専攻名 | 科目区分 | 必修・選択の別 | 授業区分 | 必要単位数 |
|-------|------------------|---------|--------|--------|
| 看護学専攻 | 大学院共通科目 | 必修 | 講義 | 1単位 |
| | | 選択必修 | 講義 | 1単位 |
| | 専門科目 | 選択必修 | 講義 | 2単位 |
| | | | 演習 | 6単位 |
| | | | 特別研究 | 12単位 |
| | 専攻共通科目 又は専門科目 | 選択 | 講義又は演習 | 8単位以上 |
| 合計 | | | | 30単位以上 |

6 連携開設科目

山梨大学医工農学総合教育部修士課程看護学専攻と山梨県立大学大学院博士前期課程看護学研究科看護学専攻は、学術連携及び交流を促進し、大学院教育の充実を図ることを目的として連携開設科目を開設しています。履修可能な科目は、指定した科目となり、修得した単位は、修了必要単位数に含めることができます。なお、連携先大学の検定料、入学金及び授業料は徴収しません。

7 大学院設置基準第14条に定める教育方法の特例（昼夜開講）

看護学研究は、看護実践上の問題をテーマとして行うことが重要であり、学部卒業後に臨床経験・実践経験を持つことは、看護学をより深く追及するために重要であります。

しかし、これら有職者が大学院に進学する場合には、その勤務を離れて修学することが必要となるため、大学院教育を受ける機会が制限されがちです。

このため、本学修士課程においては、大学院設置基準第14条「教育方法の特例」を適用し、これら有職者が離職することなく修学することが可能となるよう、昼間だけでなく夜間その他特定の時間又は時期に教育・研究指導を受けることができるよう、開講します。

履修方法は、以下のとおりです。

- (1) 月曜日から金曜日までの18時10分から21時20分、土曜日及び夏季・冬季の休業期間中に開講される講義、演習、特別研究の授業等を履修でき、研究指導も受けられます。
- (2) 履修計画については、指導教員のもとに作成します。

8 長期履修学生制度

この制度は、職業を有していること等の理由により修学時間が制約される方のために、標準修業年限（2年）を超えて一定期間（最長4年）にわたり計画的に教育課程を履修し課程を修了することができる制度です。履修すべき総単位数は、2年で修了するものと同じですから、年間の時間的負担は相当軽減されることになります。

本制度に関する照会は、医学域学務課教務グループ大学院担当（電話：055-273-9627）までお願いします。

9 入学料及び授業料の免除制度、入学料徴収猶予制度

(1) 入学料免除

次のいずれかに該当する方は、本人の申請に基づき、選考の上、入学料の全額又は半額を免除することがあります。

- ① 経済的理由により入学料の納入が著しく困難であり、かつ、学業優秀と認められた方
- ② 入学前1年以内において学資負担者が死亡し、又は入学する方若しくは学資負担者が風水害等の災害を受け、入学料の納入が著しく困難であると認められた方

(2) 入学料徴収猶予

次のいずれかに該当する方は、本人の申請に基づき、選考の上、入学料の徴収を猶予することがあります。

- ① 経済的理由により入学料の納入が著しく困難であり、かつ、学業優秀と認められた方
- ② 入学前1年以内において学資負担者が死亡し、又は入学する方若しくは学資負担者が風水害等の災害を受け、入学料の納入が著しく困難であると認められた方

(3) 授業料免除

次のいずれかに該当する方は、本人の申請に基づき、選考の上、授業料の全額又は半額を免除することがあります。

- ① 経済的理由により授業料の納入が著しく困難であり、かつ、学業優秀と認められた方
- ② 授業料の納入前6ヶ月以内（入学時にあっては入学前1年以内）において学資負担者が死亡し、又は入学する方若しくは学資負担者が風水害等の災害を受け、授業料の納入が著しく困難であると認められた方

10 奨学金制度

日本学生支援機構の奨学金制度があります。貸与額は、第一種（無利子）は、修士課程（博士前期課程）が月額50,000円、88,000円、第二種（有利子）は、月額50,000円、80,000円、100,000円、130,000円、150,000円より選択になります。（2023年度）

その他の奨学金制度もあります。詳細については、医学域学務課学生グループ（電話：055-273-9346）へ照会してください。

11 学生教育研究災害傷害保険（任意加入）

学生が教育研究活動中及び通学中に受けた災害・傷害に対し、その被害救済を目的とする互助共済制度です。保険料は2年間で2,790円です。

授業科目及び単位数

(参考：2024 年度予定)

| 部門 | 授業科目名 | 履修年次 | 単位数 | | | 備考 |
|-------------|----------------|------|-----|------|----|--------|
| | | | 必修 | 選択必修 | 選択 | |
| 共通科目 大学院 | 科学者倫理 | 1 | 1 | | | |
| | キャリアマネジメント | 1 | | 1 | | |
| | サイエンスコミュニケーション | 1 | | 1 | | |
| 専攻共通科目 | 看護保健統計論 | 1 | | | 2 | |
| | 看護環境論 | 1 | | | 2 | |
| | 看護教育論 | 1 | | | 2 | |
| | 看護倫理学特論 | 1 | | | 2 | |
| | 看護研究方法論 | 1 | | | 2 | |
| | 看護管理学特論 | 1 | | | 2 | |
| | 看護政策学 | 1 | | | 2 | 連携開設科目 |
| | コンサルテーション | 1 | | | 2 | 連携開設科目 |
| | 看護倫理学 | 1 | | | 2 | 連携開設科目 |
| | フィジカルアセスメント | 1 | | | 2 | 連携開設科目 |
| 専門科目 | 基礎看護学特論 | 1 | | 2 | | |
| | 基礎看護学演習 | 1 | | 6 | | |
| | 基礎看護学特別研究 A | 2 | | 6 | | |
| | 基礎看護学特別研究 B | 2 | | 6 | | |
| | 臨床看護学特論 | 1 | | 2 | | |
| | 臨床看護学演習 | 1 | | 6 | | |
| | 臨床看護学特別研究 A | 2 | | 6 | | |
| | 臨床看護学特別研究 B | 2 | | 6 | | |
| | 公衆衛生看護学特論 | 1 | | 2 | | |
| | 公衆衛生看護学演習 | 1 | | 6 | | |
| | 公衆衛生看護学特別研究 A | 2 | | 6 | | |
| | 公衆衛生看護学特別研究 B | 2 | | 6 | | |
| | 高齢者看護学特論 | 1 | | 2 | | |
| | 高齢者看護学演習 | 1 | | 6 | | |
| | 高齢者看護学特別研究 A | 2 | | 6 | | |
| | 高齢者看護学特別研究 B | 2 | | 6 | | |
| | 精神看護学特論 | 1 | | 2 | | |
| | 精神看護学演習 | 1 | | 6 | | |
| | 精神看護学特別研究 A | 2 | | 6 | | |
| | 精神看護学特別研究 B | 2 | | 6 | | |
| | 感染看護学特論 | 1 | | 2 | | 非開講 |
| | 感染看護学演習 | 1 | | 6 | | 非開講 |
| | 感染看護学特別研究 A | 2 | | 6 | | 非開講 |
| | 感染看護学特別研究 B | 2 | | 6 | | 非開講 |
| | 産業保健看護学特論 | 1 | | 2 | | |
| | 産業保健看護学演習 | 1 | | 6 | | |
| | 産業保健看護学特別研究 A | 2 | | 6 | | |
| | 産業保健看護学特別研究 B | 2 | | 6 | | |
| 排泄看護学特論 | 1 | | 2 | | | |

| | | | | | | |
|------------------|------------|---|--|---|--|------|
| 専 門 科 目 | 排泄看護学演習 | 1 | | 6 | | |
| | 排泄看護学特別研究A | 2 | | 6 | | |
| | 排泄看護学特別研究B | 2 | | 6 | | |
| | 国際看護学特論 | 1 | | 2 | | |
| | 国際看護学演習 | 1 | | 6 | | |
| | 国際看護学特別研究A | 2 | | 6 | | |
| | 国際看護学特別研究B | 2 | | 6 | | |
| | 母性看護学特論 | 1 | | 2 | | |
| | 母性看護学演習 | 1 | | 6 | | |
| | 母性看護学特別研究A | 2 | | 6 | | |
| | 母性看護学特別研究B | 2 | | 6 | | |
| | 小児看護学特論 | 1 | | 2 | | 開講未定 |
| | 小児看護学演習 | 1 | | 6 | | 開講未定 |
| | 小児看護学特別研究A | 2 | | 6 | | 開講未定 |
| | 小児看護学特別研究B | 2 | | 6 | | 開講未定 |
| | 在宅看護学特論 | 1 | | 2 | | |
| | 在宅看護学演習 | 1 | | 6 | | |
| | 在宅看護学特別研究A | 2 | | 6 | | |
| | 在宅看護学特別研究B | 2 | | 6 | | |

注1) 各授業科目の概要及び担当教員は「別表2」を参照してください。

注2) 『看護政策学』『コンサルテーション』『看護倫理学』『フィジカルアセスメント』は公立大学法人山梨県立大学との「連携開設科目」です。

「連携開設科目」で修得した単位は7単位まで修了必要単位数に含めることができます。

注3) 本募集要項に掲載している授業科目は、変更になる場合があります。

授業科目の概要及び担当教員

(参考：2024年度予定)

| 部門 | 授業科目 | 講義等の概要 | 担当教員 |
|---------|----------------|--|--------------------|
| 大学院共通科目 | 科学者倫理 | 現代社会では国際的に通用する高い倫理性とリスクに対する適切な対応が求められている。本講義では、高度専門職業人として求められる職業的倫理を涵養するために技術者・研究者倫理、生命倫理、環境倫理等について講義する。過去に科学者倫理を問われた国内外の事例を紹介するとともに、適切な研究データの取扱い方、実験ノートの重要性、科学論文作成上の注意点等の研究不正防止に関わる具体的事項について説明をする。 | 秋葉峻介特任講師 宮澤恵二教授 |
| | キャリアマネジメント | 大学院修了後の進路を確かなものとするための「考え方」を涵養し、産業界や地域社会において高度専門職業人として活躍するために必要な人間力を育成する。自身の将来を考えさせるキャリアデザインにとどまらず、周囲と協調して仕事を行ってゆく上で必要となる、ワーク・ライフバランスやハラスメント防止に関する知識など、人的マネジメントや組織マネジメントについても理解を深める。受講生の主体的な授業参加を促すために、オンデマンド方式による講義の聴講とグループワークを組み合わせた授業を提供する。 | 武井貴弘教授※1 他 |
| | サイエンスコミュニケーション | 専門家ではない人々に対して、科学の重要性や、研究の成果を正しく伝えることの重要性が高まっている。本講義では、高度専門職業人としての表現能力・交渉能力を磨き、国際的な通用性と信頼性を向上させるため、コミュニケーションの方法論について学修する。受講者には自分の研究内容を他者に伝えるためのプレゼンテーションを課し、その内容を相互に評価しあうことで、コミュニケーション能力を養うトレーニングを行う。英語による口頭発表、及び論文の作成法についても講義する。 | 中尾篤人教授 |
| 専攻共通科目 | 看護保健統計論 | 看護事象について、統計的手法を用いて明らかにしていく。看護事象の多くは通常複雑な要因が絡み合ったものであり、数理的手法によってこれらの事象を概念化でき、理論化することが可能となる。その場合、扱う変数は単変量であることは少なく、多くの場合多変量である。授業では、データの収集法から分析に至る一連の過程について、基本統計学、多変量解析などの手法を学ぶ。さらに、これを実際に応用できるように、自ら収集したデータを用いて EXCEL、JMP IN、HALBAU7 などの代表的統計ソフトを用いて演習する。 | 宮村季浩教授 中本和典教授 |
| | 看護環境論 | 看護対象者、看護職の身体及び精神的状態は、様々な環境によって左右され、看護実践に際して環境的因子を十分に配慮する必要がある。そこで、最近話題になっている環境問題を取り上げ、看護との関わりを教授する。 | 宮村季浩教授 |
| | 看護教育論 | 看護学教育の問題と課題を多面的に分析し、将来への展望を論ずる。看護学の基礎教育は動機づけ理論、継続教育ではキャリアマネージメントと関連づけて思考し、学習者にとって有効な看護学教育について考究する。 | 小林康江教授 |

| | | | |
|--------|-------------|--|------------------|
| 専攻共通科目 | 看護研究方法論 | 多様な看護事象を解明し、看護実践に有用な理論の構築を促進するための研究方法を習得する。本講義では、専門知識と技術の向上をめざす研究過程についての理解を深めるとともに、周辺学問領域で活用されている研究手法の看護学への応用について修得する。 | 谷口珠実教授 川端愛准教授 |
| | 看護倫理学特論 | 近年、臓器移植、安楽死、遺伝子診断、生殖補助医療、虐待などの問題に直面する看護職には、対象者の利益と権利の擁護といった理念に基づいた倫理的判断が求められている。本講義では、看護倫理に関する基本的知識を習得するとともに、具体的な臨床・臨地場面で生ずる倫理的問題を分析し対処方法を学ぶことで、看護実践に活かせる倫理の考え方を身につけることを目標とする。 | 坂井郁恵教授 |
| | 看護管理学特論 | 保健医療福祉サービスにおける質の高い看護サービスを効果的・効率的に提供していくために求められる看護管理の理論と実践を学ぶとともに、看護管理に関する病院運営・経営と情報システムおよび法律・制度や看護政策についての理解を深める。 | 神崎由紀教授 |
| | 看護政策学 | 我が国における看護政策と看護政策過程の理解を深め、医療・看護の変革期における諸課題を探究し、高度専門職業人としての人材を育成するとともに、地方における医療・看護の現状と政策決定過程を教授する。 | 連携開設科目 山梨県立大学 |
| | コンサルテーション | ケア提供者が抱える複雑で困難な問題解決を助けるためのコンサルテーションの概念、プロセス、タイプとモデル、技法を教授する。また、コンサルタントとして必要な総合的な判断力の基盤を教授する。 | 連携開設科目 山梨県立大学 |
| | 看護倫理学 | 看護における倫理の概念を概観するとともに、倫理原則、看護実践上の倫理的課題、倫理的問題解決技法などについて深く追求できるように教授する。 | 連携開設科目 山梨県立大学 |
| | フィジカルアセスメント | 複雑な健康問題をもった対象の身体状況について系統的に全身を審査し、臨床看護判断を行うために必要な知識と技術について教授する。 | 連携開設科目 山梨県立大学 |
| 専門科目 | 基礎看護学特論 | 看護実践の基礎となる援助技術について、生理学、人間工学、感染制御など他の学問領域も参考にしながら学習し、科学的思考に基づいた技術の根拠について追及する。 対象者のQOLを高める方策を検討しながら支援の在り方を学ぶ。 | 山田章子教授 倉本直樹講師 |
| | 基礎看護学演習 | 看護研究の基礎能力を身につけることを主眼とする。そのため各種の看護系論文をクリティークしながら講読する。学生は自分が選択したテーマに合った論文を提示し、内容の紹介、その後論文を批評する。 | 山田章子教授 |
| | 基礎看護学特別研究A | 基礎看護学特論および演習等での学習成果を踏まえて、看護理論、患者教育、看護実践に資する看護技術や教育方法等に関する課題、さらに、感染者に対するケアの方法や院内感染対策に関する課題について、科学的な方法を取り入れた研究計画を立てる。 | 山田章子教授 |
| | 基礎看護学特別研究B | 基礎看護学特別研究Aでの成果を踏まえて、看護理論、患者教育、看護実践に資する看護技術や教育方法等に関する課題、さらに、感染者に対するケアの方法や院内感染対策に関する課題について、科学的な方法を取り入れた研究計画をもとに研究を実施し、修士論文を作成する。 | 山田章子教授 |

| | | | |
|---------|--|--|--------------------|
| 専門科目 | 臨床看護学特論 | さまざまな健康課題を抱えた成人期にある人とその家族への理解を深め、専門性の高い看護援助を行うために、基盤となる理論や概念枠組みを学ぶ。また、それらの臨床実践への応用について論考する。 | 谷口珠実教授 川端愛准教授 |
| | 臨床看護学演習 | 臨床実践で経験する、倫理的な問題、意思決定支援、症状マネジメント等において、その人にとって望ましい援助方法を探求し、解決を図るための基礎的能力を養う。 | 谷口珠実教授 川端愛准教授 |
| | 臨床看護学特別研究A | 臨床看護学特論と臨床看護学演習を踏まえ、臨床実践の向上に寄与する研究課題を明確にし、研究計画書を作成する。これに基づいて収集したデータを分析し、論文を作成する。また、研究活動の過程において、研究遂行の基礎的能力を養う。 | 谷口珠実教授 川端愛准教授 |
| | 臨床看護学特別研究B | 臨床看護学特論と臨床看護学演習を踏まえ、臨床実践の向上に寄与する研究課題を明確にし、研究計画書を作成する。これに基づいて収集したデータを分析し、論文を作成する。また、研究活動の過程において、研究遂行の基礎的能力を養う。 | 谷口珠実教授 川端愛准教授 |
| | 公衆衛生看護学特論 | 人々が家庭や地域など生活の場において、健康問題の解決に取り組むことを助ける公衆衛生看護学の特質を伝えるために、地域における看護ニーズの把握方法、看護を保健・医療・福祉システムの中に有効に機能させる方法を論述する。 | 神崎由紀教授 |
| | 公衆衛生看護学演習 | 特別研究テーマと関連深い看護実践の分野の課題に実際に携わり、理論の検証・追試と高度看護実践に関わる専門技術の習熟を図る。 地域ケアシステム構築方法、予防活動展開方法、公衆衛生看護管理等の主要な課題について地域の看護専門職の実践活動を素材に文献購読を含むゼミ形式で行う。 地域における健康問題に影響を及ぼす諸要因について、健康調査などの実際のデータを分析し、その結果を地域にフィードバックするという作業をとって研究方法を論述する。 | 神崎由紀教授 |
| | 公衆衛生看護学特別研究A | 地域住民を対象とする医療、福祉、看護サービスの現状を改善するための専門的技術開発・発展のための基礎的研究能力を養う。 | 神崎由紀教授 |
| | 公衆衛生看護学特別研究B | 地域住民を対象とする医療、福祉、看護サービスの現状を改善するための専門的技術開発・発展のための基礎的研究能力を養う。 | 神崎由紀教授 |
| | 高齢者看護学特論 | 加齢現象と高齢者の健康問題の特性に関する知識、および保健医療福祉施設における健康問題をもつ高齢者とその家族に対する看護実践に求められる包括的な知識の修得をめざし、合わせて看護師の多様な役割について認識を深める。 | 谷口珠実教授 牧野公美子准教授 |
| | 高齢者看護学演習 | 高齢者と家族を支援する保健医療福祉サービスにおける看護の専門性を探求し、看護の実践・相談・教育に求められる基礎能力を修得する。 | 谷口珠実教授 牧野公美子准教授 |
| | 高齢者看護学特別研究A | 研究を実施するための調整をはかり、円滑に研究を実施する。 | 谷口珠実教授 牧野公美子准教授 |
| | 高齢者看護学特別研究B | 研究計画に沿った研究実施後のデータ分析と論文作成。 | 谷口珠実教授 牧野公美子准教授 |
| 精神看護学特論 | 精神疾患患者、メンタルヘルスの問題を抱える人とその家族を理解するために必要な知識、求められる看護実践について修得する。 精神疾患患者と家族の支援、心の健康づくりのための実践、精神保健福祉看護における課題と展望について考察するとともに、援助技法の理論的背景についての理解を深める。 | 坂井郁恵教授 | |

| | | | |
|------------|---------------------------|---|------------------|
| 専門科目 | 精神看護学演習 | 国内外の先行研究の検討を通して、精神疾患患者、メンタルヘルスの問題を抱える人と家族に対する看護実践について研究する。そして、当該領域における現状と課題を整理し、自身の研究テーマと研究方法を具体化する。 | 坂井郁恵教授 |
| | 精神看護学特別研究A | 精神看護学特論および演習を踏まえて、精神看護学領域における実践の質の向上のために必要な研究課題を見出し、学術的意義及び新規性、独創性を有す研究計画書を作成する。 | 坂井郁恵教授 |
| | 精神看護学特別研究B | 精神看護学特論と演習を踏まえて、精神保健看護学領域における実践の質向上のために必要な研究課題を見出し、適切な手法を用いた研究を行い、論文を作成する。 | 坂井郁恵教授 |
| | 感染看護学特論 | 感染症をひきおこす微生物と宿主の免疫についての基礎的な知識を学び、種々の病原体の性状、感染症の発生要因、感染防止対策、無菌法、感染者者や易感染者への看護について教授する。 | 非開講 |
| | 感染看護学演習 | 感染症をひきおこす微生物と宿主の免疫についての基礎的な知識に関する事項について、演習や文献講読を通し、国内外の現状及び課題を知り、自らの研究に繋げることを目指す。 | 非開講 |
| | 感染看護学特別研究A | 院内感染防止対策、感染者者へのケア、新興・再興感染症の発生に対する対応、および地域における看護活動から課題を自ら見出し、適切に研究計画を立案できる。 | 非開講 |
| | 感染看護学特別研究B | 院内感染防止対策、感染者者へのケア、新興・再興感染症の発生に対する対応、および地域における看護活動から課題について感染看護学特別研究Aの授業で作成した研究計画を実施し、適切なデータ収集や分析を行い、修士論文を作成する。 | 非開講 |
| | 産業保健看護学特論 | 労働現場での保健活動の要として期待されている産業看護職が、労働者と共同で産業保健活動を行うための幅広い知識を得ることを目標とする。産業保健・看護活動の実践には、健康問題を捉えるだけでなく、職場の環境、作業の内容、労働者と事業者の関係さらには社会の状況なども多面的に考える能力が必要となるため、産業保健に関係する保健学・公衆衛生学、医学、看護学、心理学、経営学を総合的に学ぶ。 | 宮村季浩教授 |
| | 産業保健看護学演習 | 労働現場に潜在する健康問題について精査し客観的な指標として示すことができるようになることを目標として、論文・資料の検討、討議を行い、テーマ毎にプレゼンテーションを行う。さらにそれらを基に、職場での実施を想定した健康教育の計画、実施、評価を行う。 | 宮村季浩教授 |
| | 産業保健看護学特別研究A | 特論、演習を基に、労働現場に潜在する健康問題について幅広い視野で研究を行い、修士論文を作成する。 | 宮村季浩教授 |
| | 産業保健看護学特別研究B | 特論、演習を基に、労働現場に潜在する健康問題について幅広い視野で研究を行い、修士論文を作成する。 | 宮村季浩教授 |
| | 排泄看護学特論 | 排泄障害をもつ対象者を理解し、排泄障害による問題や課題のある対象者に対する排泄看護について学ぶ。ストーマ・排泄リハビリテーション看護を発展させるための基礎的能力を習得する。 | 谷口珠実教授 三井貴彦教授 |
| | 排泄看護学演習 | 特別研究テーマで扱う特定の排泄障害領域と排泄看護に関連する諸因子について、事例報告、研究報告を参考にしながら演習する。 | 谷口珠実教授 |
| | 排泄看護学特別研究A | 研究を実施するための調整をはかり、円滑に研究を実施する。 | 谷口珠実教授 |
| 排泄看護学特別研究B | 研究計画に沿った研究実施後のデータ分析と論文作成。 | 谷口珠実教授 | |

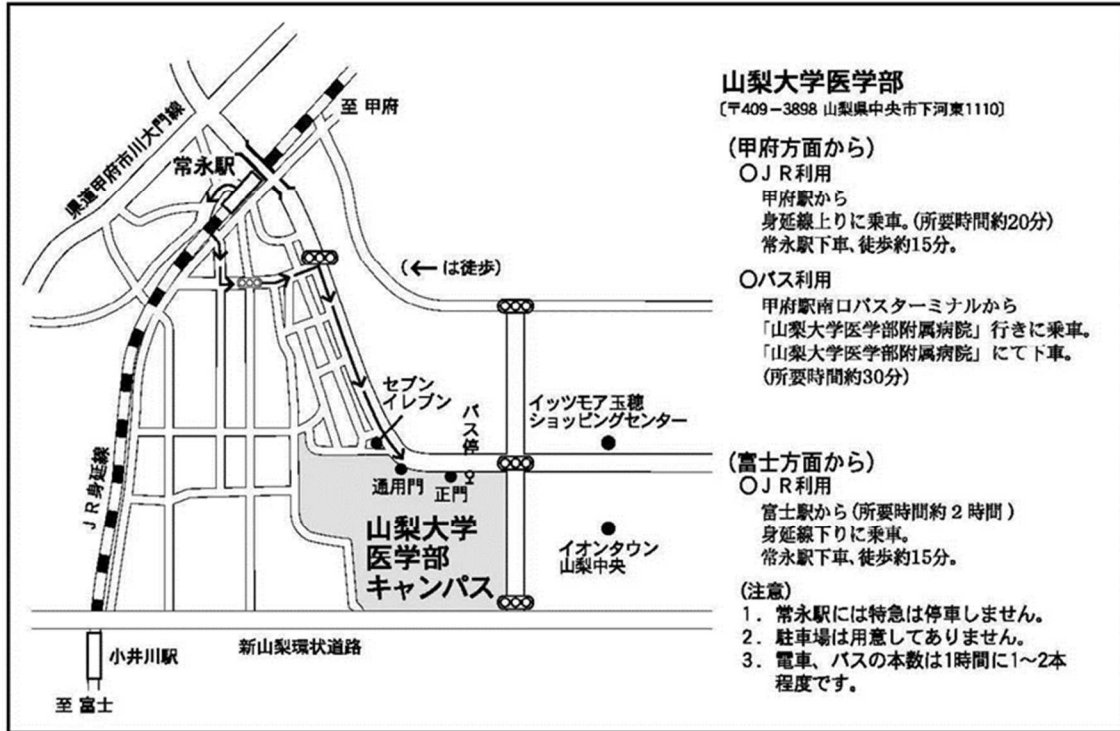
| | | | |
|------------------|------------|--|------------------|
| 専 門 科 目 | 国際看護学特論 | 国際看護に関わる基礎概念を学ぶ。また、国際保健や国際看護が取り組む様々な健康課題とその対決のための諸活動・研究事例を検討し、国際看護の現状と課題を理解する。 | 宮本和子教授 |
| | 国際看護学演習 | 世界の、特に発展途上国の様々な健康課題の解決のために、看護が求められていることは何かを、国際看護に関わる事例報告や研究報告、様々なデータを検討し、考察する。 | 宮本和子教授 |
| | 国際看護学特別研究A | 主として発展途上国の人々が直面する様々な健康課題を解決するために、看護が貢献しうる様々な可能性の一つとして、各自の研究を実施するための研究計画を作成する。 | 宮本和子教授 |
| | 国際看護学特別研究B | 特別研究Aで作成した研究計画に基づき調査を実施し、修士論文を作成する。可能であれば発展途上国のフィールド調査を実施することを期待する。 | 宮本和子教授 |
| | 母性看護学特論 | 親になる過程に焦点をあて、この過程の中で生じる心身の変化、倫理的課題、取り巻く社会状況と医療システムにおける看護・助産の役割について、科学的エビデンスに基づいて探求する能力を養う。 | 小林康江教授 眞嶋ゆか講師 |
| | 母性看護学演習 | 母性看護・助産学、あるいは遺伝看護学領域における効果的な支援方法や改善につながる理論や実践方法について探求する。 | 小林康江教授 眞嶋ゆか講師 |
| | 母性看護学特別研究A | 母性看護・助産学あるいは遺伝看護学における特定の研究課題を探求し、研究計画に基づき、看護学に貢献する修士論文を作成する。 | 小林康江教授 |
| | 母性看護学特別研究B | 母性看護・助産学あるいは遺伝看護学における特定の研究課題を探求し、研究計画に基づき、看護学に貢献する修士論文を作成する。 | 小林康江教授 |
| | 小児看護学特論 | 子どもの成長・発達、子どもと家族の相互作用に関する諸理論を学修し、看護の対象者の理解を深める。また、現代の家庭、社会環境の変化、医療技術の進歩に伴った看護上の諸問題について探求する。 | 開講未定 |
| | 小児看護学演習 | 関心のある先行研究の検討を行い、子どもと家族への看護上の課題を見出し、発表や討論を通して課題解決の方法を探求する。それを基に研究計画を作成する。 | 開講未定 |
| | 小児看護学特別研究A | 小児看護学特論・演習の学びを踏まえ、子どもを取り巻く社会環境の変化に伴う看護上の諸問題を探求し、研究計画に基づき修士論文を作成する。 | 開講未定 |
| | 小児看護学特別研究B | 小児看護学特論・演習の学びを踏まえ、子どもを取り巻く社会環境の変化に伴う看護上の諸問題を探求し、研究計画に基づき修士論文を作成する。 | 開講未定 |
| | 在宅看護学特論 | 講義及びゼミ形式にて、在宅看護学に関連する歴史・社会的背景・政策・理念・倫理・理論・対象特性等の理解を深め、課題や解決策・看護職の役割について探求・考案できる基礎的能力を養う。 | 戸村ひかり准教授 |
| | 在宅看護学演習 | ゼミ形式にて、在宅看護学に関連する国内外の文献を抄読し、研究内容の把握と研究方法の修得を図る。また、諸理論や概念枠組みを用いて、個人・集団・地域といった様々なレベルに焦点を当てて事例検討を行い、在宅看護学に関する現状把握・課題解決・評価のための思考力や実践能力を養う。 | 戸村ひかり准教授 |
| | 在宅看護学特別研究A | 在宅看護学特論・演習や実践経験等を基に研究テーマを決定する。さらに、倫理的配慮を厳守して研究を遂行し、修士論文を作成、成果を公表する。 | 戸村ひかり准教授 |

| | | | |
|----------|-------------|---|-----------|
| 専門 科目 | 在宅看護学特別研究 B | 在宅看護学特論・演習や実践経験等を基に研究テーマを決定する。さらに、倫理的配慮を厳守して研究を遂行し、修士論文を作成、成果を公表する。 | 戸村ひかり 准教授 |
|----------|-------------|---|-----------|

※1 他学域教員

※2 本募集要項に掲載している授業科目は、変更になる場合があります。

山梨大学医学部キャンパス周辺図



山梨大学医学部キャンパス構内案内図



山梨大学甲府キャンパス周辺図

University of Yamanashi, Kofu Campus Location Map

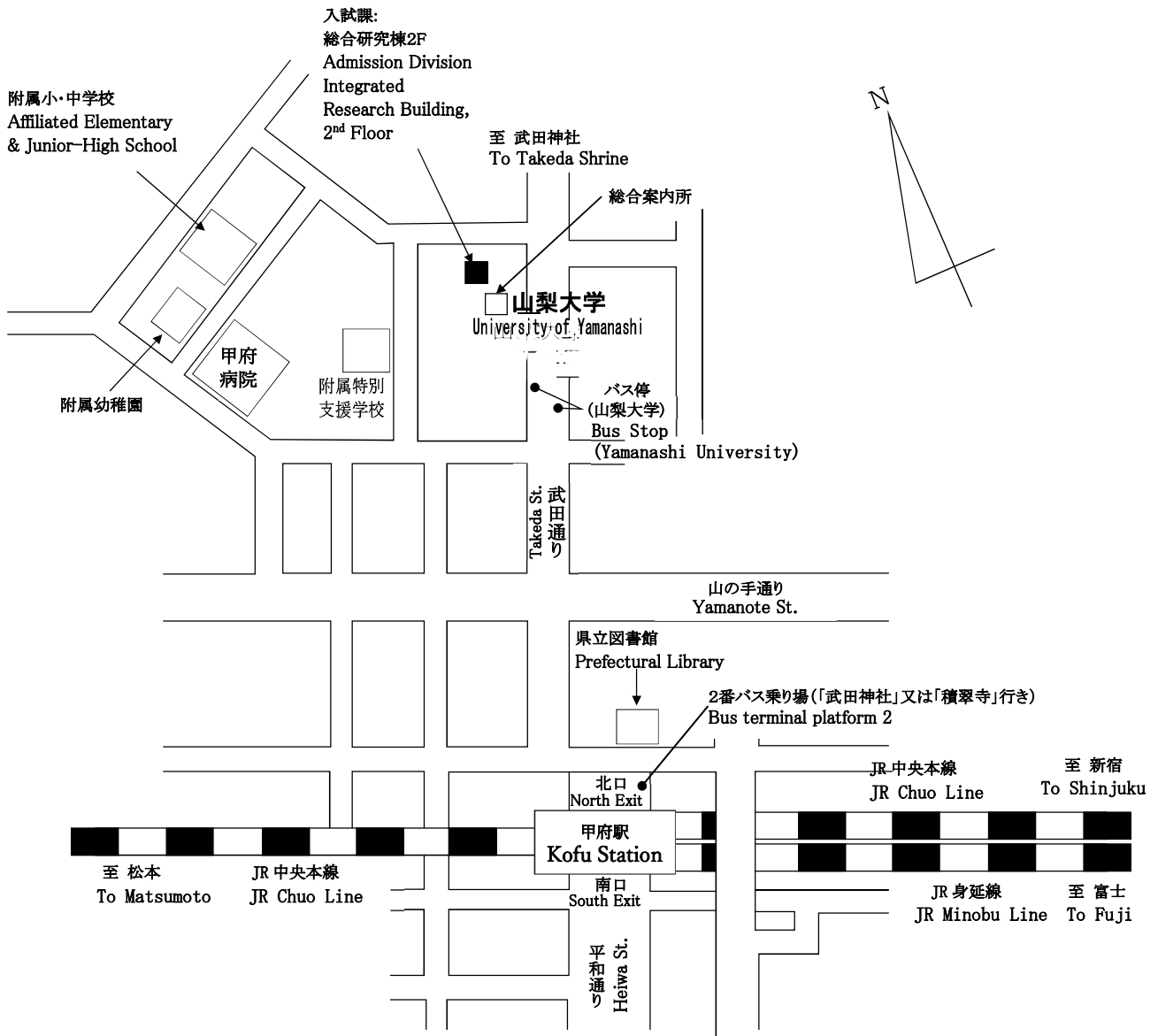
甲府駅下車、北口から徒歩約15分

甲府駅下車、北口からバス(「武田神社」又は「積翠寺」行き)で約5分「山梨大学」下車

Take the JR train to Kofu Station and follow the signs to the North Exit.

The campus is about a 15 minutes walk from Kofu Station.

Take the JR train to Kofu Station. From the bus terminal at the North Exit, take a bus at platform 2 bound either for "Takeda-jinja Shrine," or "Sekisuiji Temple". After about 5 minutes, get off at the Yamanashi University Bus Stop.



構内には駐車場がありませんので、電車、バス等の公共交通機関を利用してください。
As there is no parking area available on the campus property, please use public transportation.

本学所定の様式

| | |
|------|---|
| 受験番号 | ※ |
|------|---|

研究計画書

| | |
|--------------|--|
| 氏名 | |
| 志望する教育・研究領域 | |
| 研究テーマ | |
| 研究目的 | |
| 研究の動機 | |
| 研究方法 | |
| 1. 対象 | |
| 2. データ等の収集方法 | |
| 3. データ等の分析方法 | |

注1：※欄は大学側で記入します。

注2：記入欄が足りない場合は、裏面に記入してください。

| | |
|------|---|
| 受験番号 | ※ |
|------|---|

受験及び就学承諾書

山梨大学長 殿

このたび、入学志願者_____が貴大学院医工農
学総合教育部修士課程看護学専攻を受験することを承諾します。

なお、同志願者が貴大学院に入学した場合は、在職したまま就学することを承諾し
ます。

年 月 日

機関名・職名：

氏 名： ⑩

注1：出願時に病院や企業に勤務しており、入学後も引き続き在職のまま在学を希望する方は必ず提出してください。なお、出願時に病院や企業に勤務していても、入学後学業に専従する場合は提出する必要はありません。また、出願時と入学時で勤務先が異なる方、入学後に就職する方は、医学域学務課(電話：055-273-9627)へ照会してください。

注2：※印欄は大学側で記入します。

| | |
|------|---|
| 受験番号 | ※ |
|------|---|

本募集要項 1 頁の「3 出願資格」の(9)又は(10)により入学を志願する方のみ、事前に出願資格の審査を行いますので、下記の書類を提出してください。

大学院入試出願資格審査提出書類チェックシート（要提出）

| | |
|-----------|--|
| ふり 氏 名 | |
|-----------|--|

| 事前の資格審査に必要な提出書類 | 部数 | チェック欄 |
|--|-------|--------------------------|
| 1 入学試験出願資格審査願（様式 4） | 1 部 | <input type="checkbox"/> |
| 2 最終学歴の卒業(修了)証明書（見込みも含む） （本募集要項 1 頁の出願資格(9)で在学中の方は、在学証明書） | 1 部 | <input type="checkbox"/> |
| 3 最終学歴の成績証明書 （本募集要項 1 頁の出願資格(9)で在学中の方は、在学している学校の成績証明書） | 1 部 | <input type="checkbox"/> |
| 4 提出書類チェックシート（本書類） | 1 部 | <input type="checkbox"/> |
| 該当者のみが提出する書類 | | |
| 5 実務期間及び実務内容証明書（様式 5） ・ 職歴のある方は提出してください。 | 1 部 | <input type="checkbox"/> |
| 6 研究業績調書（様式 6） ・ 研究業績がある方は提出してください。 | 1 部 | <input type="checkbox"/> |
| 7 研究業績調書に記入した内容を証明する書類（学術論文等の別刷、出版物、学会のプログラム等(コピー可)） | 各 1 部 | <input type="checkbox"/> |
| 8 戸籍抄本 ・ 改姓等により各証明書等の氏名が異なる場合は、提出してください。 | 1 部 | <input type="checkbox"/> |
| 9 住民票又は旅券の写し *国籍が日本国以外の方 ・ 日本国内在住の方 住居地の市区町村長が交付する住民票(在留資格及び在留期間が明記されたもの)を提出してください。 ・ 海外在住の方 旅券の写し(顔写真が掲載されているページ)を提出してください。 | 1 部 | <input type="checkbox"/> |

注：※印欄は大学側で記入します。

| | |
|------|------------|
| 受験番号 | 大学側で記入します。 |
|------|------------|

山梨大学大学院医工農学総合教育部修士課程看護学専攻
入学試験出願資格審査願

| | | | |
|--|--|-----------------|-------------|
| ふりがな 氏 名 | | 生年月日 | 年 月 日 |
| 選抜区分 | 一般選抜 | 社会人特別選抜 | |
| 希望する 指導教員 | | 志望する 教育・研究領域 | |
| 学 歴 (高等学校以降の 全ての学歴を 記入) | 年 月 日 ~ 年 月 日 | | |
| | 年 月 日 ~ 年 月 日 | | |
| | 年 月 日 ~ 年 月 日 | | |
| | 年 月 日 ~ 年 月 日 | | |
| 職 歴 | 年 月 日 ~ 年 月 日 | | |
| | 年 月 日 ~ 年 月 日 | | |
| | 年 月 日 ~ 年 月 日 | | |
| | 年 月 日 ~ 年 月 日 | | |
| 研究業績等 (学位取得を希望 する動機となっ た研究業績等を 記入) | | | |
| 免許・資格 | | | |
| 連 絡 先 | (〒 -) 電話： - - E-mail： | | |

- ※ 希望する指導教員欄：事前打ち合わせを十分行った上、記入してください。
- ※ 学歴欄：高等学校以降の全ての学歴を記入してください。(大学等で研究生等として在学歴がある場合も記入してください。)
- ※ 職歴欄：職歴のある方は、「実務期間及び実務内容証明書(様式5)」を添付してください。
- ※ 研究業績等欄：研究業績のある方は記入してください。なお、記入欄が足りない場合は、別用紙を使用し記入してください。また、「研究業績調書(様式6)」及びその記載内容を証明する書類(学術論文等の別刷、出版物、学会のプログラム・抄録等(コピー可))を必ず添付してください。
- ※ 連絡先欄：出願資格の審査結果を確実に受信できるメールアドレスを記入してください。
- ※ 最終学歴の卒業(修了)証明書(見込みも含む)及び成績証明書を添付してください。

| | |
|------|---|
| 受験番号 | ※ |
|------|---|

実務期間及び実務内容証明書

氏 名 _____

生年月日 昭和・平成 年 月 日

| | |
|---------------------|---------------|
| 職 名 | |
| 在職期間 | 年 月 日 ~ 年 月 日 |
| 職務内容 (詳細に記入願います) | |
| 機関名・職名 | |
| 氏 名 | 印 _____ |

注：※印欄は大学側で記入します。

| | |
|------|---|
| 受験番号 | ※ |
|------|---|

研究業績調書

| 氏名 | | | | 備考 | ※ |
|------------------|----------|-------------------|----------------------------|----|---|
| 著書、学术论文、学会発表、その他 | 発行、発表の年月 | 出版社、掲載雑誌、発表学会等の名称 | 概要 (業績について簡潔に記入してください。) | | |
| | | | | | |

注1. 記載内容を証明する書類（学术论文等の別刷、出版物、学会のプログラム等(コピー可)）を必ず添付してください。

注2. ※印欄は大学側で記入します。

| | |
|------|---|
| 受験番号 | ※ |
|------|---|

記入例

研究業績調書

| 氏名 | ○○○○○ | | | 備考 | ※ |
|------------------------------------|----------|--------------------|----------------------------|----|---|
| 著書、学術論文、学会発表、その他 | 発行、発表の年月 | 出版社、掲載雑誌、発表学会等の名称 | 概要 (業績について簡潔に記入してください。) | | |
| 1. 著書 ○○○○○○ | 2018年4月 | ○○出版社 | | | |
| 2. 学術論文 ○○○○○○ (受験者氏名、共著者氏名) | 2017年11月 | ○○学会誌 (Vol. No) | | | |
| 3. 学会発表 ○○○○○○ | 2016年12月 | ○○学会 | | | |
| 4. その他 | | | | | |

注1. 記載内容を証明する書類（学術論文等の別刷、出版物、学会のプログラム等(コピー可)）を必ず添付してください。

注2. ※印欄は大学側で記入します。